

東京交響楽団 ファミリーコンサート 〔バレエ付〕



日本を代表するオーケストラ“東京交響楽団”
今、最も将来を期待される指揮者“梅田俊明”
サー・ピーター・ライトが芸術顧問を務める
気鋭の“スターダンサーズバレエ団”
クラシックの名曲とバレエの魅力が凝縮された
珠玉のファミリーコンサート！

指揮：梅田俊明

管弦楽：東京交響楽団

バレエ：スターダンサーズバレエ団

♪プログラム♪
モーツァルト
ベートーヴェン
チャイコフスキー

「フィガロの結婚」より序曲

交響曲第5番「運命」

「眠りの森の美女」より ワルツ

「白鳥の湖」より 情景・モデラート / 4羽の白鳥(*) / 情景・アンダンテ(*)

「くるみ割り人形」より 行進曲 / 中国の踊り(*) / アラビアの踊り(*)

ロシアの踊り(*) / 金平糖の踊り(*) / 花のワルツ(*)

(*)…バレエ付き

※プログラムは変更となる場合があります。



2013 **11.24**

君津市民文化ホール 大ホール

(日) 開場 14:30・開演 15:00

全席指定

S席 6,500円

A席 5,500円

◆無料駐車場 830 台完備 ◆終演後に JR 君津駅まで臨時有料バスを運行いたします

◆未就学児の入場はご遠慮ください

問合せ：君津市民文化ホール Tel.0439-55-3300 <http://www.kimibun.jp/>

主催：公益財団法人君津市文化振興財団・虹の音楽会

プレイガイド

◆君津市民文化ホール 0439-55-3300 ◆写真のファミリー 0439-52-5014 ◆コンド―楽器木更津本店 0438-23-5511 ◆イオンモール富津総合サービスコーナー 0439-80-1700

◆ローソンチケット (Lコード32151) 0570-084-003 / (オペレータ予約) 0570-000-407

PROFILE

指揮 梅田俊明



1984年桐朋学園大学音楽学部卒業。1986年同研究科修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。1983、1984年にはジャン・フルネ氏にも学ぶ。1986年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後、日本センチュリー、仙台フィル、神奈川フィルの指揮者を歴任。NHK響、読売日響、東京都響、新日本フィルを始め国内主要オーケストラとの共演を重ねている。2000年より仙台フィル常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、2006年3月までその任を務めた。2006年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に、演奏及び指揮指導で参加し、注目を集めた。国内だけでなく1996年には南西ドイツ・フィル、スロヴァキア・フィルの定期演奏会にも出演しいずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚く、将来を期待されている指揮者。桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師。

バレエ スターダンサーズ バレエ団



1965年、太刀川瑠璃子により創立。当時のスターダンサーを集めた公演をプロデュースしたことがきっかけで誕生したことから命名された。1981年、指揮者渡邊暁雄を理事長に迎え、日本のバレエ団初の財団化を果たす。

数多くの日本初演作品を含む意欲的な公演活動に対し、1977年第5回ニムラ賞、1989年第20回舞踊批評家協会賞、及び1992年第23回舞踊批評家協会賞を受賞。古典から現代バレエの世界的名作の数々を上演する一方、日本人振付家による新しい作品も発表し続け、豊富なレパートリーを誇るとともに日本バレエ界発展の一翼を担っている。現在、理事長石坂泰彦、代表・総監督小山久美、以下団員は総勢50名にのぼり、1996年には英国よりサー・ピーター・ライトを芸術顧問に迎えた。また2003年より国連UNHCR協会を通じて難民教育支援のためのチャリティー公演を行うなど社会活動にも意欲的に取り組んでいる。海外公演は、1986年以降中国での公演は数回に及び、その他1993年韓国、2002年ドイツ・ハイルブロン市立劇場招聘による全15回公演、また2006年にはドイツ連邦文化財団の招聘によりベルリン、ハンブルグほか4都市でドイツ文化センターとの共同作品を発表し、いずれも好評を博している。2010年には上海万博に招聘された。公式HP <http://www.sdballet.com/>

管弦楽 東京交響楽団

公式HP <http://tokyosymphony.jp>

1946年創立。音楽監督にユベール・スダーン、桂冠指揮者に秋山和慶、常任指揮者に大友直人、正指揮者に飯森範親、首席客演指揮者にグシユトフ・ウルバンスキを擁する。2014年度からはジョナサン・ノットが音楽監督に就任する。年間160回以上の公演を行い、新国立劇場ではレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、音楽之友社賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞などを受賞。2012年度より設けられた文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業〈年間支援〉」初年度4オーケストラに選定されている。川崎市のフランチャイズ、新潟市の準フランチャイズ・オーケストラとして地域での活動にも力をいれている。教育面でも「こども定期演奏会（サントリーホールとの共催）」「0歳からのオーケストラ」を行い注目を集めている。海外公演も数多く行っており、これまでに53都市71公演を行っている。

